

22.多様化するキャッシュレス決済

インターネットの普及により「デジタル化」が進む中、わたしたちの生活にも、支払いの様々なシーンで「キャッシュレス決済」が急速に広まっています。

キャッシュレス決済は支払いの時期によって3種類に分けることができます。

支払いの時期	種 類	特 徴
即時払い	デビットカード など	決済すると即時に代金が消費者の口座から引き落とされる。口座残高をきちんと管理する必要がある。
前 払 い	図書カード プリペイド型 電子マネー など	初めから使える金額が決まっている使い切りタイプとチャージして繰り返し使えるタイプがある。
後 払 い	クレジットカード コンビニ後払い など	クレジット会社などが販売店に代金を立替払いし、後日消費者がコンビニや口座引き落としなどで支払う。

カードタイプ以外に QR コード決済・バーコード決済・タッチ決済などスマートフォンにインストールしたアプリを利用するスマホ決済も増えています(〇〇Pay など)。便利な決済方法ですが、スマートフォンを紛失して電子マネーを勝手に使われるなどのトラブルもあります。あらかじめ運営会社の連絡先を調べておくといでしょう。

プリペイド（前払い）の仕組みとトラブル

事例 SNS に「1 億円当選したので受け取ってほしい」とメッセージが送られてきた。受け取るには手数料が必要と言われ、指示されるままコンビニでプリペイドカードを購入し番号をメッセージで返信した。しかし「文字化けして読めないので再度送るように」などと言われ何度も電子マネーを購入させられた。結局当選金は受け取れず、だまされたと思う。

プリペイド型電子マネーはチャージした残高の範囲で使うことができます(※)。コンビニで買えるプリペイドカードもその一つです。使い過ぎを防ぐことができ大変便利な反面、匿名性を逆手に取った詐欺やトラブルが後を絶ちません。事例のようにカードの番号を教えてしまうとカードを手渡したのと同じで、被害回復は非常に困難です。

(※) クレジットカードと連携して自動入金されるオートチャージ機能がついているものもある。

クレジット（後払い）の仕組みとトラブル

クレジットとは「信用」という意味です。クレジットを利用するためにはクレジット会社の審査を受ける必要があります。クレジットは現金がなくても利用できて大変便利ですが、無計画に利用すると多重債務に陥り返済に追われる危険性があります。

リボルビング払いを利用するときの注意点

事例 家電量販店でクレジットカードを作った。支払い方法には翌月一括払いとリボ払いがあったが、ポイントがたくさんもらえると聞き、リボ払い（※）を選んだ。最近利用明細を確認したら、毎月支払っているにもかかわらず残高がほとんど減っていないことに気づいて驚いた。 （※）リボルビング払いの略称

リボ払いとは、クレジットカードの利用金額や回数に関係なくあらかじめ設定した金額を毎月支払う方式です。月々の支払いを一定額に抑えることができる一方、利用残高に対して手数料がかかるため、支払い総額が高額になったり、支払いが長期化したりすることがあります。また、最初から支払い方法がリボ払いに設定されているカードもありますので、申込時には十分確認することが大切です。

クレジットカードでトラブルにあったら

クレジットカードを不正利用されるトラブルが近年急増しています。カード明細に身に覚えのない請求があがった場合は、家族など周りの人が利用していないか確認し、クレジットカード会社に問い合わせましょう。「あやしいサイト」やフィッシングメールにカード情報を入力してしまったら、すぐにクレジットカード会社に連絡しましょう。また、カードを紛失したり盗難にあったりした場合は警察署にも届け出ましょう。

キャッシュレス利用心得 5 か条

- ①ライフスタイルに合わせて支払い方法を選びましょう。
- ②始める前にウェブサイトや利用規約をしっかり確認しましょう。
- ③ID、パスワード、スマートフォン及びカードはしっかり管理しましょう。
- ④決済履歴や利用明細は必ず確認し、計画的に利用しましょう。
- ⑤通信障害や停電時に備え、複数の支払い方法を持っていると安心です。

ウェブ明細も
チェックしてね！